科目ナンバリング	U-LAS05 20028 SJ74				
授業科目名<英訳>	都市空間論基礎ゼミナールⅠ Introductory Seminar on Urban Space and Architecture I		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授	中嶋　節子
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

テーマ：日本の近代建築
明治以降，日本は西洋からさまざまなタイプの建築を移入する。こうした西洋風の建築は，公共建築やオフィスビルといった新しいビルディングタイプに用いられることで日本の都市景観を大きく変えた。京都大学時計台など大学の建物もそうした近代建築のひとつである。住宅に関しては，住まい方自体を変質させたといえる。その過程はどのようなものであったのか，そして背景にはどのような文化的，社会的な状況があったのかを先行研究を通して検討する。

授業では、近代建築に関する書籍を講読し、京都大学およびその周辺の近代建築を見学する。

[到達目標]

我が国における西洋建築の導入の過程を理解するとともに，現在の建築文化について考察する力を養う。

[授業計画と内容]

日本における西洋建築の導入過程を文献講読を通じて学ぶ。履修学生は担当箇所について調査（現地・文献）を各自行い、授業において発表を行う。

第１回　オリエンテーション　映像「京都の近代建築」
第２回　京都大学の近代建築をめぐる見学会
第３回　講読・発表の分担の決定　発表方法・資料検索の説明
第４回　京都大学清風荘（重要文化財）あるいは駒井家住宅（市指定文化財）などの見学会
第５～13回　担当箇所の発表
第14回　総括　補足説明
第15回　フィードバック（質問等の対応）
※履修人数に応じて見学会や映像鑑賞を適宜追加することがある。

講読予定図書
藤森照信『日本の近代建築（上）』(岩波新書308)9784004303084
藤森照信『日本の近代建築（下）』(岩波新書309)9784004303091

目次
第１章　地球を東に回って日本へ　―ヴェランダコロニアル建築
第２章　地球を西に回って日本へ　―下見板コロニアルと木骨石造
第３章　冒険技術者たちの西洋館　―洋式工場
第４章　棟梁たちの西洋館　―擬洋風・その一
第５章　文明開化の華　―擬洋風・その二
第６章　御雇建築家の活躍　―歴史主義の導入
第７章　日本人建築家の誕生　―歴史主義の学習

都市空間論基礎ゼミナールⅠ(2)へ続く↓↓↓

都市空間論基礎ゼミナールⅠ(2)

第８章　明治から大正へ　―自覚の世代の表現
第９章　新世紀の歴史主義　―アメリカ派の隆盛
第10章　社会政策派　―都市と社会の問題
第11章　モダンデザイン　―表現派にはじまる
第12章　初期モダニズム　―バウハウス派とコルビュジエ派

[履修要件]

建築や都市、デザイン、歴史に興味がある学生はぜひ履修していただきたい。
建築に関する予備知識は必要ではない。

[成績評価の方法・観点]

発表（60%）、レポート（20%）、授業における参加度（20%）によって評価する。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
藤森照信 『『日本の近代建築（上）』(岩波新書308)』（岩波書店）ISBN:9784004303084
藤森照信 『『日本の近代建築（下）』(岩波新書309)』（岩波書店）ISBN:9784004303091

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前にテキストを読み込むとともに，授業後には参考図書にも目を通していただきたい。また，実際の建築物にできるだけ多く触れていただきたい。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーや連絡先は授業時に説明します。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部